D-2「身近なことからゲーム感覚で学ぶ地球環境問題、SDGs」

～循環型社会へ～

講義担当：NPO　一緒に楽しく

講座対象者	□小学校低学年　■小学校中学年　■小学校高学年 ■放課後施設利用児童　□中学生　□高校生　□大学生　□地域一般		
授業活用例	総合学習、理科、社会、家庭		
関連のある SDGsのゴール	3, 4, 6, 7, 13, 14, 15, 16, 17他	オンライン授　業	□可　■不可
対応可能曜日	■平日　□休日　□その他（　　曜日）		
対応時間	８時半から18時		
年間実施上限数	８回		
講座実施方法 ※（　）は場所等	■講義（　パソコン、大型画面を利用できる教室等　） □ワークショップ（　　） □自然体験（　　）		
講座所要時間	45 分×2　又は 40 分×2		
実施条件、必要な準備等	パソコン、プロジェクター又は大型画面の準備をお願いします		

講座内容

1. 授業の目的･狙い･方針

狙い ： ESD for 2030 の実践

目的 ： 持続可能な明るい社会実現のために、自分ごととして主体的に考えること。そのために、
(1)分かりやすく平易に説明、　(2)楽しく授業、
(3)世界にも目を向け、必要性を理解、　(4)身近なことから学ぶ。
(5)資源を大切にする暮らし方(風呂敷)

方針 ： 全員参加の授業を目指す。 児童の発言は一切否定しない。

2. 内容

1)身近なことから話を進め、台風の大型化などに話を広げる。SDGs は児童が理解できる項目に絞る。背景にある主な現状、そして将来予測などを理解する。SDGsの項目と 地球環境問題との関連について考え、各自意見を言う。マグネット付きのSDGs アイコンカードを用いて、カードゲーム的に扱う。

2)地球環境問題が様々なSDGs 項目と深く関係していることに気づいてくれることが多い。

3)身近にできる対策について考える。自分でも出来ることは何かな？

4)風呂敷包み体験。資源を大切にする暮しとして、使い捨てとならない暮らし方の一つを学ぶ。

5)ふり返り　感想とこれから自分がやろうとすることを「まとめのシート」に書く。

3. 期待すること

「まとめのシート」を持ち帰ることによって、お家の方との会話を期待する。各家庭、各児童ができることを考える一助になることを期待。

問合せ先（団体名： NPO 一緒に楽しく　担当:松野　TEL： 070-5565-3912 ）
メールアドレス：　matasaburo-kaze@ymobile.ne.jp ）